

# これがオススメ! 読み聞かせ本

高学年

指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさん  
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さ  
て実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読  
んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせが  
できるよ」という本と読み方を紹介しましょう。



## 『しらんぷり』

梅田俊作／佳子 作・絵  
(ポプラ社)

「はじめ」という問題に、正  
面から取り組んだ絵本です。  
はじめがいけないということ  
は子どもたちも分かっています。  
でも、どうしてはじめが  
起ってしまうのか。その筋  
道を主人公の子どもに寄り添  
って考えていきます。

絵本としては異例とも思え  
るくらい厚く、長い絵本です。  
手に持って読み聞かせるのは  
大変なくらいです。

教室ではなく、オープンス  
ペースに集まり、みんなが寄  
り添うようにして聞いてもら  
いました。「今日は、みんなと  
一緒に読みながら、考えたい  
ことがあるんだ」と話し、楽  
しく読むいつもの本とはちょ  
っと違うことを意識させてか  
ら読みました。

長いお話ですが、子どもた  
ちは自分のこととして感じな  
がら真剣に聞いてくれました。  
大人との関わりの場面ではホ  
ツとし、自分がはじめを知っ  
ても「しらんぷり」してしま  
う場面では息をのむように、  
絵本を見つめていました。

今のはじめの問題は、この  
本の読み聞かせをすればなく  
なるというほど簡単なもので  
はないでしょう。でも、絵本  
によってはじめを「追体験」  
した子どもたちは、当事者に  
なるつらさ、傍観者の苦しみ  
を感じる事ができるのかも  
しれません。はじめが起きて  
からの対策というより、「こん  
なことがないクラスにしたい  
ね」という願いをもって読ん  
でいけたらと思います。